

岳南都市圏都市交通マスタープラン

第2回岳南都市圏パーソントリップ調査

都市交通マスタープランは、概ね20年後の都市圏の将来像を見据えた都市交通の基本計画です。人口減少や少子高齢社会の本格化に対応した「コンパクト+ネットワーク」の構築に向けた交通施策の展開を提案しています。

【目指す都市交通像】

富士山のふもと 活発な交流と住みやすさを支える交通ネットワーク

人口減少や少子高齢化が進展する中、持続可能な都市づくりに向けて、富士山の豊かな自然環境や恵み、交通の要衝である良好な立地条件を活かし、産業活力や拠点を中心とした多様な交流を支え、住みやすさを向上できる交通ネットワークを目指します。

【都市交通体系の基本方針と戦略・施策】

目指す都市交通像の実現に向け、都市交通体系の基本方針を「活力」「安全・快適」「環境・魅力」の大きく3つの視点から設定しました。基本方針に基づく6つの戦略に沿った交通施策を展開します。

【道路網計画】

都市圏内外の広域的な交流の促進や都市拠点と地域生活拠点間の交通需要に対応した走行性の高い「骨格幹線道路網」を形成します。

方針Ⅰ 活力 集約連携型都市構造による「活力創出」に寄与する交通体系の構築

戦略1 広域連携・交流を支える「都市連携軸」の強化

戦略2 生活拠点機能を補完し合う「地域間連携」の強化

方針Ⅱ 安全・快適 「安全・快適な暮らし」を支える交通体系の構築

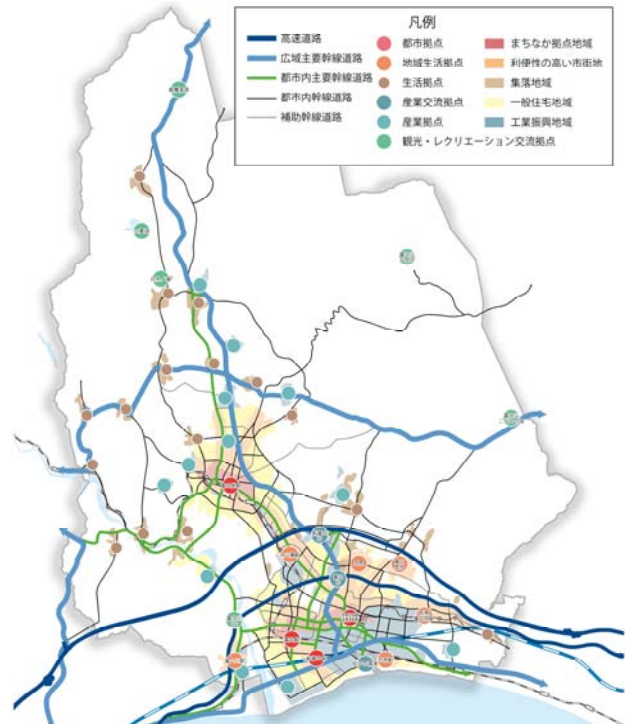
戦略3 誰もが利用しやすい「安全・快適な交通環境」の確保

戦略4 命をまもる「防災・減災機能」の強化

方針Ⅲ 環境・魅力 豊かな自然環境と共生し「魅力向上」につながる交通体系の構築

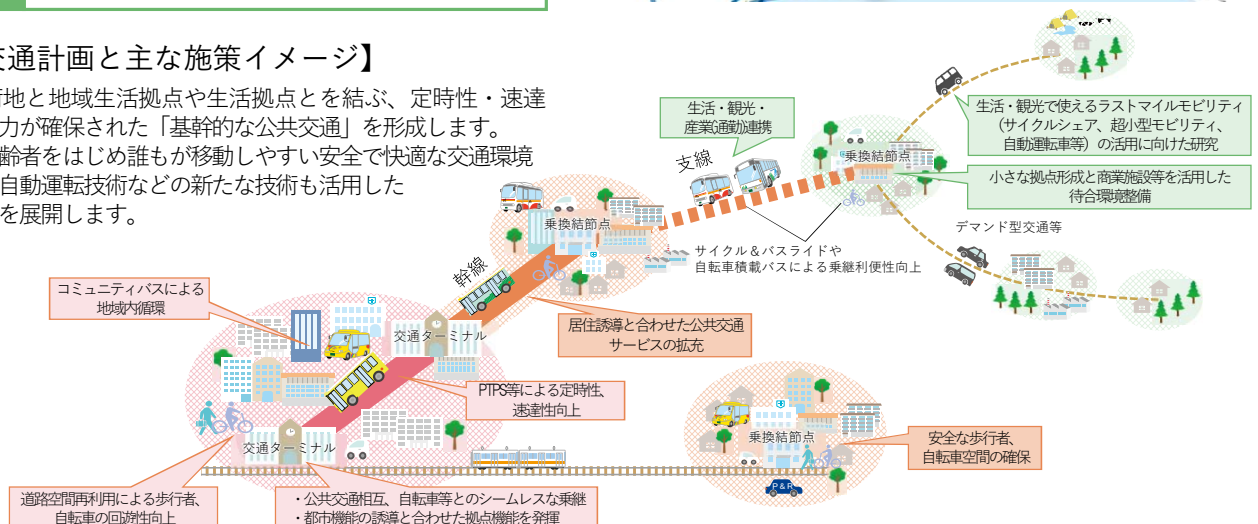
戦略5 世界遺産富士山を活かした魅力ある「観光ネットワーク」の構築

戦略6 自動車もかしこく使う「多彩なモビリティサービス」の展開



【公共交通計画と主な施策イメージ】

中心市街地と地域生活拠点や生活拠点とを結ぶ、定時性・速達性・輸送力が確保された「基幹的な公共交通」を形成します。また、高齢者をはじめ誰もが移動しやすい安全で快適な交通環境づくりや自動運転技術などの新たな技術も活用した交通施策を展開します。



6 推進体制等

6-1 計画の展開に向けた取組

- 都市交通マスタープランの展開により、目指すべき都市交通像の実現に向けた取組を進めます。
 - 積極的な周知により、都市交通マスタープランの情報共有を図ります。
 - 幅広い意見を取り入れるために、住民・事業者等と行政の協働を進めます。
 - 関係者が協力し、相互に連携した推進体制のもと施策に取り組みます。
 - 今後期待される 技術革新等にも柔軟に対応し、適時適切に施策を見直します。

6-2 推進体制

